

経営会議の内容

件 名	(仮称) 大和市の総合的な交通施策（骨子案）について
所 管 部	街づくり計画部
日時・場所	平成24年11月20日（火） 11:05～11:40 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、健康福祉部長、こども部長、環境農政部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、教育部長、消防長、街づくり総務課長、道路安全対策課長
提 出 理 由	(仮称) 大和市の総合的な交通施策を策定するにあたり、その内容について了承を得るため
会議経過	【主な意見等】 ・福祉施策との連携のイメージはどのようなものか。 (所管部) 超高齢社会を迎えるにあたり、交通施策と福祉施策がバラバラのものであってはいけない。具体的には、高齢者の乗降のサポートを地域の方々の協力を得ながら行うことや、バス停を高齢者の楽しい集いの場所とするようなことが考えられる。具体的な手段手法は今後検討していく。 ・平成23年度に行った市民アンケート調査、やまとeモニターは、どれくらいの数の市民を対象としたのか。 (所管部) 市民アンケート調査は2,000人、やまとeモニターについては1,400人に対し行った。 ・この計画の主な目的は移動性を高めることと理解して良いか。 (所管部) そのとおりである。超高齢社会の到来に向けては、日常生活を送る上で移動が困難となる市民の増加が予想され、市としては移動手段の確保・利便性向上に取り組んでいくことが必要である。地域の活力への影響も懸念されることから、力を入れて進めていかなければいけないと考えている。 ・本市は鉄道駅1km圏の人口カバー率が80%と県内各市の中で最も恵まれた状況にあり、そもそも交通利便性が高いといえる。交通利便性は暮らしやすさに直結するテーマである。本計画はこれを一層高め、本市をさらに暮らしやすいまちにするための実行的なプランとして非常に有効なものと考えられる。
会議結果	案のとおり、進めていく。